

受賞名	入選	部門名	アイデア部門
作品名	超環境住宅分譲モジュール		
応募者名	近藤建設株式会社 發智 良幸		
住宅の概要	住所	構造・階数	延床面積
環境への工夫	<input type="checkbox"/> 1 自然材料の利用や資源循環の長寿命化に関する工夫 <input type="checkbox"/> 2 省エネ設計手法に関する工夫 <input type="checkbox"/> 3 自然と共生し、自然通風など自然力利用に関する工夫 <input type="checkbox"/> 4 地域の林業、気候風土・歴史的技術の継承などへの工夫 <input type="checkbox"/> 5 災害時でのLCPが継続できる工夫 <input type="checkbox"/> 6 その他の独創的な工夫		
作品の説明	<p>多くの土地で、生産緑地の解除の検討が予想される数年後、新しい住まい（街づくり）提案を考えました。植栽による自然の力による環境改善、建物の単純化による性能の向上、木材利用から考える新工法への実現、地産地消的エネルギー利用など様々な角度から考える土地利用としての提案です。</p>		
講評	<p>一般的な住宅分譲では、各住戸敷地内に個々の駐車スペースを併設していたため、建物および駐車で敷地のほとんどが占用され緑地の確保等がむづかしかった。今回の提案では、駐車を各住居から切り離し区画全体の駐車スペースをまとめて通り側に設置している。このことにより、広く豊かな植樹帯が設けられ環境に配慮された住宅地が形成できることとなった。できれば、このアイデアにあわせて個々の住まいとしてのオリジナル性が出せればよりよかったと思う。（講評者：片渕委員）</p>		